

大怪我多発による通達事項

2022年5月12日

チーム代表 各位
チーム審判担当

(一社) 神奈川シニアサッカーリーグ
会長 小野正裕

日頃から皆様には、ご協力頂きありがとうございます。

2022年度のリーグ戦も4月2日よりスタートしカテゴリーによっては、2節ほど雨の影響を受けていますが順調に消化しています。

今回の通達事項は、4月以降5月8日までに、試合中の骨折事故が報告されています。シニアリーグの目的は、サッカーのプレーヤーとして生涯スポーツの目的で、親睦を含めた交流を行っていますが、怪我をすることにより、仕事に支障をきたす事象は、シニアリーグの本意ではありませんので、以下に対策事項等各チームに依頼致します。

怪我の状況

四十雀 2件 鎖骨骨折、肋骨骨折
五十雀 2件 肋骨骨折、手首骨折
六十雀 1件 鎖骨骨折
七十雀 2件 アキレス腱断裂

リーグ戦がスタートしてから、約1か月で、上記のように合計 7件の大怪我が発生しています。中には自損による怪我也含まれますが、ファールによる怪我が大多数で、ファウルにはなっているものの、警告の提示はありませんでした。

骨折事故が発生している状況で、身体接触で過剰な力が加わった為、警告処分が行われなければなりません。危険なプレーでの退場処分も考えられます。

約1か月間での警告数は合計 57件でラフプレー (C1) 数は37件と全体の67%を占めています。

今後の対策

*各チーム審判員に依頼

審判員の判定基準の見直し (警告行為: ラフプレー・退場行為: 危険なプレー)、上記事例での、ファウル (ラフプレー) に対し、ノーカードを反省し適切なカードの提示をお願い致します。

*競技理事・各競技委員 (インスペクター) に依頼

インスペクターレポートでは、救急車搬送等記録して頂きありがとうございます。
各試合における、審判員の判定に対し覆すことは出来ませんが、判定処分に疑問を感じたら、インスペクターレポートに報告をお願い致します。

以上宜しくお願い致します。